

平成26年度

学校教育方針

京都市立深草小学校

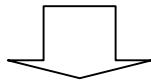
我が子をこの学校に学ばせたい

「子どもが喜んで登校してくる学校、地域に信頼される学校」づくり

「ともに創ろう！私たちの学校」 自分を創る 仲間を創る 学びを創る

学校教育目標

夢をもち 自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成



心豊かに

【支え合い高め合う集団】

- 人権を基盤とした学級経営
 - ・人権感覚（仲間を尊敬し、態度）
 - ・自尊感情（存在感や成就感・達成感・自己有用感を感じる学級風土）
 - ・仲間意識（共に生き、共に歩もうとする意識）
- 生徒指導をはじめ、あらゆる活動を通して
 - ・互いに協力し合い、共に高まろうとする意識
 - ・規範意識の育成（人ととのつながりを大切にし、ルールや法の重要性を自覚できる）

自ら学び

- 【「確かな学力」の保障】
- 【「見える学力」の向上】
- 学ぼうとする意欲・学ぶ目的意識・学び続ける力
 - ・学習ルールの徹底
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
- 言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力の育成
- I C T 機器等を効果的に活用し、情報活用能力を高める。
- 伝統と文化を受け継ぎ、地域の人材や資産の活用

たくましく

【命を守り、育む】

- 子どもの命を守る教職員体制と子ども自身が命を大切にできる学校教育の実践
- 「豊かな心」の育成
 - ・自尊感情を高め、互いを尊重し認め合う力
- 「健やかな体」の育成
 - ・毎日を明るく生き生きと生活できる力

夢をもつ

めざす子ども像＝「ふかくさ」の子

ふれあい 心うごかす子	からだも心も げんきな子	くふうし かんがえる子	さえあい はげましあう子
<ul style="list-style-type: none">◇友だちの努力や成果を自分のことのように喜、心からの拍手を送ることができる。◇見たものや聞いたことに対して、素直に感動することができる。	<ul style="list-style-type: none">◇自分が周りの人たちから大切にされていると感じることができる。◇自分のよいところをたくさん見つけ、それを他のために生かそうとすることができる。	<ul style="list-style-type: none">◇決められた学習だけでなく、自主学習にも積極的に取り組むことができる。◇興味を持ったことや疑問に思ったことを追究するため、計画を立てて実行することができる。	<ul style="list-style-type: none">◇友だちと一緒にやり遂げる楽しさを味わうことができる。◇友だちの心の痛みを自分の痛みとして感じることができる。◇友だちの困りを解決するために共に行動することができる。

めざす学校像

- ◇ 一人ひとりが生き生きとかがやく学校づくりをめざす
- ◇ 教職員自らが自己の資質や能力の向上をめざす
- ◇ 全教職員が一致協力して教育活動を推進する
- ◇ 家庭や地域と連携して、「開かれた学校づくり」を推進する

保 護 者 ・ 地 域 と の 連 携

① 確かな学力の向上に努める。

- ・基礎・基本の定着を目指した学習指導（個に応じた学習・学習形態）に努める。
- ・習得した知識や技能を活用・応用させる力の育成に努める。
- ・学習意欲を高める「わかる授業」や評価の工夫に努める。
- ・読書活動をより促進・充実させ、言語能力、表現力、及び豊かな感性の育成に努める。
- ・体力の向上に努めると共に、運動能力の向上にも努める。
- ・電子黒板やコンピュータ等の教育機器を活用した学習指導に努める。
- ・LD等支援の必要な子どもの実態を正確に把握し、個に応じた教育課程の編成や指導内容や指導方法の工夫・改善に努める。

② 健康な心身の育成と温かい人間関係づくりに努める。

- ・道徳教育・人権教育の充実に努める。
- ・勤労や感動体験を重視した心の教育の充実に努める。（ボランティア・環境・福祉）
- ・生徒指導の充実に努める。
- ・健康に関する意識や危機管理意識の高揚を図ると共に、保健・安全教育の充実に努める。
- ・家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣の確立を目指すと共に、食育の充実 や自分の健康保持に心がけようとする児童の育成に努める。

③ 学校力の向上を図るために教職員の資質や能力の向上に努める。

- ・指導力の向上やより効果的な校内研修を図るための研究体制充実に努める。
- ・校内授業研究を活性化させて指導力を高め、授業改善に努める。
- ・新学習指導要領・京都市教育スタンダードの趣旨や内容の把握と、それを活かした教育課程の編成と実践に努める。
- ・学校全体の組織的な機能化と、主体的な教育活動の推進に努める。
- ・学校評価の工夫・改善による活用に努める。
- ・教育機器の活用能力の向上に努める。

④ 「開かれた学校づくり」に努め、家庭・地域との連携を深める。

- ・家庭や地域社会に積極的に働きかけ、協力して児童の育成に努める。
- ・多様な機会、方法、学校教育の取り組みを説明するように努める。

- ・地域の自然や人材を活用したり、関係諸機関と連携しながら、教育活動の推進や児童の安全確保に努める。
- ・保、小、中との連携・交流に努める。
- ・学校運営協議会と連携を図りながら、よい方向を追求するよう努める。

⑤ 教育環境の整備を推進する。

- ・施設設備の点検、充実と、教育環境の整備に努める。

平成26年度 重点目標

* 人の話をしっかり聞こう

話し手の方を見て、体も足も向けて、うなずきながら聞く。

* 自分の考え方や思いを、分かりやすくつたえよう

アイコンタクト、ノー原稿、指差し、聞きやすい音量と速さ

* 当たり前のことと当たり前にしよう

規範意識・人としてのマナー

* 目に見える学力をあげよう

～点数を大切に～